



発行所 **自治労連愛知県本部** 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L <http://www.jaichi.jp> TEL<052>916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX<052>916-2308

**2013. 3. 25
No.1067**

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

第84回愛知県中央マーテー

全県で仲間が決起 3・14全国統一行動



岩倉市職は早朝の本庁舎で、春闘勝利をめざす職場決議ビラを配布。9人で約300枚を手渡しました。宇佐美書記次長は、「まちを支える自治体職員の生活を守ることがまちを守ること。私たちの生活を破壊する不当な賃下げは許されない」と行動への決意を語ってくれました。



豊川市職労は早朝の本庁舎で、賃下げ反対の組合ニュースを配布。参加者6人が5つの入り口に分かれて450枚を手渡しました。



春日井市職労は24人の参加で中央委員会を開催。退職手当の経過報告と地方公務員への賃下げ問題を学び、今後のとりくみを議論しました。



島の市町村課と意見を交わしました

3月14日、全労連が全国で決起を呼びかけた「全国統一行動」が行われました。行動は、全ての労働者の賃金改善や公務員賃下げ反対などを重点課題に掲げたものです。県内では愛知春闘共闘が決起集会を開催し、自治労連愛知県本部でも岩倉市職をはじめ多くの単組が行動にとりくみました。

13 春闘で大きな世論に

すべての労働者の賃金引き上げ

未法物には民間 云物方勧告書にて 300人/件間が未よりよし

主催者を代表して愛学連の博松議長が、「今年の春闘は何と言つても『賃金引き上げ』の世論をつくつていくことが最大の課題。円安で巨額の利益をあげているトヨタをはじめとした大企業に、下請企業の単価引き上げを求めていくことが私たち愛知春闘共闘の果たす社会的役割である」とあいさつ。JMTUからは昇給ゼロと成り果賃金導入の会社提案をストライキで撤回させた

3月14日 愛労連・愛知春闘共闘委員会は、3・14労働者決起集会を開催しました。集会は、春闘要求回答指定日である13日の回答をふまえて、さらなる要求前進をはかるうとおよそ300人が名古屋市栄広場に結集、自治労連からも170人以上が参加

蒲郡市職・西村悠さん
本当に7・8%も賃下げ
されでは、生活を楽しむ
裕が全くなくなってしま
う。将来への希望を持
ためにも絶対に阻止し
くては。

NCR支部のとりくみが紹介され、「団結してたしかえば勝利を切り開ける」と決意表明が行われました。

集会は、不当な公務員の賃下げ許さず、賃上げでフレ脱却、大企業の内部留保還元、TPP参加・消費税増税反対の決議文を採択し、団結ガンバローで閉会。栄広場から矢場町まで「賃上げで景気を回復しろ」「憲法9条を守れ」とデモ行進しました。

3月15日、自治県本部は13国民をもとに、愛知県と回答交渉を行な名古屋市職労、西知立市職労からあり、11人で交渉しました。

はじめに自治自治について、國の介入について確認すると市町村課は、「自治生の自主性を尊重している。一方で法の趣旨を「こえる職責もある」と回答しました。

これに対しても本部は、「秋の交渉で労使合意について住民理解が得られたか、県は判断する立場にはないと確認している。自治生への判断・介入など、否定的な事は言うべきではない」と追及。「こういった意見があることは十分に受け止める」への回答を引き出

「県は労使自治に介入するな」

愛知県市町村課交渉で追及

に市町村へお願いしていい。現段階では対応について、『検討中』の回答にならぬものがほとんどではないか」と答えました。

最後に地方公務員の舊金労働条件の維持向上のための努力するよう市町村課に対し求め、交渉を終えました。



全員加入へ 青年部も がんばります



豊川市病の青年部長 渋谷和義さん

春から職場に加わる新たな仲間を組合へ迎え入れようと、多くの単組で組合説明会や歓迎会の準備が行われています。毎年100%近い組合加入率を誇る豊川市民病院職員とりくむ青年部の活動について取材しました。

「まずは新しい仲間に、組合つて楽しい、頼もしいものなんだつてわかってるんですけどね」と、さわやかな笑顔を見せてくれるのは、4月で入職5年目を

「まずは新しい仲間に、組合つて楽しい、頼もしいものなんだつてわかってるんですけどね」と、さわやかな笑顔を見せてくれるのは、4月で入職5年目を

「クリスマスパーティー や旅行など楽しいことが見を出し合いました」と、準備の様子を語ってくれます。



長久手市職労は3月11日、春の全体学習会を開催しました。愛知淑徳大学の古井景教授を講師に、心のケアについて学びました

できない自分を認める事が大事

長久手市職労「心のケア」学習会

長久手市職労は3月11日、春の全体学習会を開催しました。愛知淑徳大学の古井景教授を講師に、心のケアについて学びました

長久手市職労は、何でもしてもらえる子どもと自分で判断し行動できる大人の心の不調を訴える若者が増えてきていると指摘。「若いうちはできないことが当たり前。大事なこと

古井教授は、何でもしてもらえる子どもと自分で判断し行動できる大人の心の不調を訴える若者が増えてきていると指摘。

「メンタルヘルスの理解と対応」と題しての学習会には、本庁や保育園などから仕事を終えた約50人の仲間が参加しました。

古井教授は、何でもしてもらえる子どもと自分で判断し行動できる大人の心の不調を訴える若者が増えてきていると指摘。

「若いうちはできないことが当たり前。大事なこと

は失敗であり、その経験の中ができるようになる。必要以上に自分を責める必要はありません」と出

来な自分を認めた上で、努

めました。組合の勝ちとつりながら説明会にとりくみに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

休みに加入申込書を配布した。組合員がその場で

豊川市病組合説明・歓迎会

豊川市病組合説明・歓迎会



執行委員から加入の訴え

熱い呼びかけ 100%加入

西尾市職組合説明会

西尾市職組合説明会